

① 地理情報の利活用環境の整備

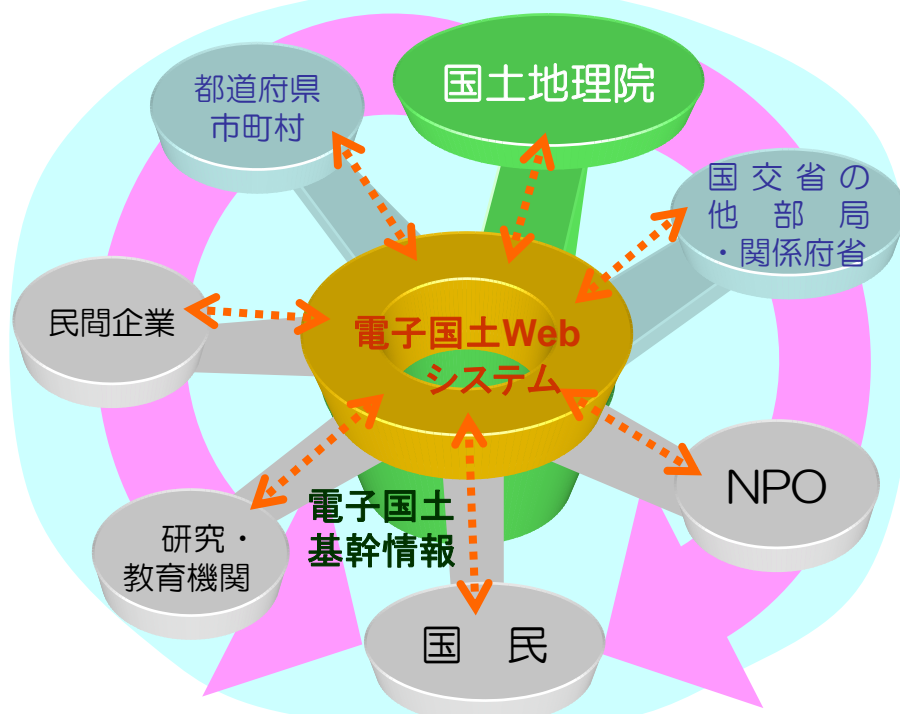
～電子国土による地理情報のハブ&スポーク構造の構築

電子国土により、産学官民の多様な主体が持つ地理情報の共有、利活用を促進するハブ&スポーク構造を構築する。

電子国土によるハブ&スポーク構造

電子国土基幹情報*
国土地理院が整備、更新している、位置情報基盤に基づく、国土に関する基本的な地理情報

電子国土Webシステム
電子国土基幹情報をベースマップ等を利用して、インターネットを利用して誰でも自由に地理情報を発信できるシステム



必要な地理情報をいつでも自由に利用できるくらしの実現

公的機関の測量成果の共有化と相互利用の推進

◆公的機関の測量成果の共有化の推進 (⇒ P.14)

◆公的機関の測量成果の相互利用の推進
・国土基本情報のリアルタイム更新*の推進
・公共測量成果のオンライン提供

電子国土Webシステムの機能強化と利用者の支援の推進

◆電子国土Webシステムの機能強化
・クリアリングハウスの充実
・携帯電話版電子国土Webシステムの構築 (⇒ P.15)

◆電子国土Webシステム利用者の支援

ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた地理情報の提供

◆ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた地図のガイドライン作成の推進

◆自律的な移動を支援する位置情報の提供
・自律移動支援プロジェクトの全国展開への技術支援
・疑似GPSによる屋内での高精度測位実現に向けた研究